

令和7年度使用中学校の教科用図書
選定委員会報告書

令和6年7月

選定委員会報告書

教科(国語) 種目(国語)

発行者の番号・名称	総 評
2 東書	<p>全体的に分量も適切である。図やイラストなどがあって、読みやすくなっている。「言葉の力」「広がる広場」などで学んだことを振り返ることができたり、新しい知識が身につけられたりするようになっている。「未来を考える本」や「読書案内」など本に親しみがもてるように工夫されている。ただ、指導者にも、学習者にも、言語事項に関する説明が、図やイラストではなく文章の形でもう少し必要だと感じる部分があった。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用できるものである。</p>
15 三省堂	<p>「読み方を学ぼう」「思考の方法」の手法を使い、「学び方」にアプローチできるので、主体的に学習に取り組み、理解を深めることができる。日常生活につながる活動や生かせる資料が豊富で、豊かな言語生活を目指すことができる。資料編の内容が充実しており、探求的で深い学びが期待できる。中学生に人気の曲や著名人の声を取り入れていて、学ぶ意欲を喚起させる工夫をしている。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用するのに適している。</p>
17 教出	<p>総合「(SDGs)」の単元では、情報活用能力や課題解決能力の育成に役立つ演習課題が各学年で設定されている。「学びナビ」・「ヒント」という項目で、生徒が学習活動への見通しをもって取り組めるよう工夫されている。しかし、チャートなどで示されておらず、工夫が必要であると考えられる。思考の手助けとなるシンキングツール等が少なく、視覚的な支援があると更によいと思われる。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用できるものである。</p>
38 光村	<p>各題材で、生徒が何を学ぶのかが明確に示されており、使用する学習者が自らの学びを自覚しやすいという長所がある。「学びのカギ」として、文章の論理や読解方法、言葉の扱い方など、国語科で指導する思考・判断・表現の仕方が明確に言語化・図式化して提示されており、指導者の立場から見ても学習者からの立場から見ても扱いやすい教科書である。また、「思考の地図」として、思考の整理・深化の仕方が示されている点も、生徒の思考力を高める上で効果的である。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用するのにふさわしい。</p>

選定委員会報告書

教科（国語） 種目（書写）

発行者の番号・名称	総 評
2・東書	<p>三年間を見通して、基礎基本の定着を図れる構成である。書き込みのページでは、教材文字を上、書き込み欄を下に配列し、正しく字形を書く練習をしやすい。また、常用漢字表とともに人名用漢字表もあり、作品づくりに活用できる。全体的に情報が多く、資料も充実しているが、資料が細やかすぎるため、既習事項と結びつけにくい单元がある。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用できるものである。</p>
15・三省堂	<p>毛筆で学んだことを硬筆で活用できるように配列されており、基礎・基本が身につけやすい。ページの色分けによって、何を学ぶページなのか明確であり、三年間の学習の流れがわかりやすい。また、毛筆の用具が作られる工程や荷物の送り状、願書の書き方も示されるなど、資料が充実している。毛筆教材は本編に少なく、補助教材として複数の例を示しているが、文字が小さいため練習に生かすにくい。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用できるものである。</p>
17・教出	<p>見出しが学年ごとに色分けされ、三年間の学習の流れがわかりやすい。単元の流れが明確に示されており、学習者が主体的に学習しやすい構成になっている。また、「枕草子」や「走れメロス」など国語科の内容と結びつくように配慮されている。一年生から書写で習った内容を日常の学習に生かして書く活動が設定され、きれいに字を書くための中心線が書かれており、指導に効果的である。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用するのにふさわしい。</p>
38・光村	<p>三年間の学習の流れがわかりやすく、見通しを立てやすい。B5版であり、机上で配置しやすい大きさである。各ページが情報量を抑えたシンプルな構成になっているため、基礎基本の定着などに別冊が必要であり、教材が二冊にまたがるので扱いが複雑になりやすい。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用できるものである。</p>

令和7年度使用中学校教科用図書

選定委員会報告書

教科（ 社会 ） 種目（ 地理 ）

発行者の番号・名称	総 評
2・東書	<p>見開きページが、導入→学習課題→チェックアンドトライで学習内容をまとめる活動で構成されている。コラムが充実し、関連する話題や発展する内容が取り扱いやすくなっている。章末には、話し合いを想定した学習活動が設定されており、思考力・表現力の育成が図られている。インターネットを活用した学習のための二次元コードが掲載されている。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用できるものである。</p>
17・教出	<p>見開きの冒頭に学習課題が示され、「確認と表現」でまとめる流れで構成されている。生徒が自ら資料を読み取るためのヒントが示されている。見開きページに説明しまとめる内容が位置づけられており、表現力を育成する内容が掲載されている。学習に関連するウェブサイトアクセスのための二次元コードが掲載されている。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用できるものである。</p>
46・帝国	<p>見開きが、挿入資料→学習課題→本文資料→内容を振り返る新たな課題という流れで構成されている。コラムとして学習内容に関連した事例が紹介されている。章末に学びを図表でまとめ考察する学習活動が示されている。章の始めと終わりにまとめて二次元コードが掲載され、学習の補助になる動画等を確認することができる。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用するのに適している。</p>
116・日文	<p>見開きが、導入資料→学習課題→「確認」と「表現」という流れで構成されている。また、活用したい社会における見方考え方の例が示されており、主体的な学びの助けとなっている。章末には、思考ツールを活用して学びをまとめるなど、思考力、表現力を育てる学習が位置づけられている。二次元コードで、デジタル教材にアクセスでき、学習を進める上での資料が充実している。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用するのにふさわしい。</p>

令和 7 年度 使用 中学校 教科用 図書

選 定 委 員 会 報 告 書

教 科 (社 会) 種 目 (歴 史)

発行者の番号・名称	総 評
2・東書	<p>各章の導入部分で単元を貫く課題が設定され、事象を見る視点が掲載されているため、主体的に学習に取り組むことができる。写真やイラストが掲載されるなど、親しみやすい工夫がされている。関連する動画などに教科書からデジタル教材へ移行しやすいよう工夫がされている。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用するのに適している。</p>
17・教出	<p>学習の見通しをもたせるための、単元の問いは、簡潔に書かれている。資料の種類やコラムが豊富である。中には二次元コードで資料にアクセスできるよう生徒の興味・関心を高めるような工夫がされているものもある。一方で、岡山県に関する資料は少ないため、指導に工夫が必要である。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用できるものである。</p>
46・帝国	<p>各章の導入部分から単元を貫く課題が設定されており、章末まで見通しをもって学習ができるように工夫されている。イラストや資料も見やすい工夫がされており、デジタル資料も豊富でわかりやすくまとめられている。SDGs の目標などを用いた課題解決について考察する活動が設定されている。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用できるものである。</p>
81・山川	<p>資料やコラムが多く、その中には二次元コードで資料にアクセスできるよう生徒の興味・関心を高めるような工夫がされている。しかし、内容的には、1ページ当たりの情報量が多く、文字が小さいため、中学生にはやや難易度の高い記述が見られる部分や、岡山県関連の記載が少ないため、指導の際には工夫が必要となる。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用できるものである。</p>
116・日文	<p>レイアウトは見やすく活用しやすいように整えられている。単元と節の関係を構造的に捉えられるよう問いが工夫されているため、単元のまとめをしやすい構成となっている。二次元コードはすべての見開き1ページごとについており、資料にアクセスでき、生徒の興味関心を高める工夫がされている。さらに、岡山県に関する記述も掲載されており、郷土調べで活用したり、生徒の興味関心を高めたりすることができる。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用するのにふさわしい。</p>
225・自由社	<p>各章の導入部分で、前章からの流れが分かりやすく示す等の様々な工夫があったり、章末で、時代を比較して時代の特色を考える等、興味関心をもって学習に取り組めたりできるようになっている。本文の記述を深めるための読み物資料も多く、写真やイラストの配置も効果的である。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用できるものである。</p>

227・育鵬社	<p>巻頭には、日本人の文化の歴史を学ぶことができる「日本の美の形」が掲載されるなど、資料が多い。コラムも多く、その中には二次元コードで資料にアクセスできるよう生徒の興味・関心を高めるような工夫がされている。章末のまとめでは、同じような形式でその時代の特色を捉えられるようになっている。これらのことから、採択地区において使用できるものである。</p>
236・令和	<p>文献史料やコラムが多く、生徒が興味・関心をひくような工夫、巻末の地図資料や各時代の美術品を取り上げ歴史の概観をつかめるよう工夫されている。しかし、内容的には、中学生にはやや高度な記述が見られる。また、資料や基本的な語句を取り上げすぎて、やや煩雑になっている部分がある。これらのことから、採択地区において使用できるものである。</p>

選定委員会報告書

教科（ 社会 ） 種目（ 公民 ）

発行者の番号・名称	総 評
2・東書	<p>単元のまとまりを重視した構成がなされている。単元の導入時に探求課題を設定し、その課題に迫るために1単位時間ごとに学習課題を位置付け、単元末でこれまでの問いを振り返りながら探究課題に取り組むといった、学習を段階的に深めていけるような工夫がなされている。1単位時間の中で、公民的な見方・考え方を活用して考察するコーナーの質や分量に差があるため、学習展開の時間の工夫など、指導の際に配慮が必要である。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用するのに適している。</p>
17・教出	<p>各章の流れの中で、章の始めにイラストで説明するページから、「ウォーミングアップ！公民」で問題を解かせたり、「学習の見通し」の欄を設けることにより、見通しをもって学習したりできるように配慮されている。章の終わりで、「HOP！」の欄で知識・技能をコンパクトにまとめることができるようになっており、「STEP！」で思考力・判断力・表現力だけでなく、主体的に学習に取り組む態度についても評価できるように工夫されている。様々な思考ツールの使用が推奨されているが、使い方を例示するなどの工夫が必要である。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用できるものである。</p>
46・帝国	<p>各章の始めに、大きく立体的な絵を使って、問いに答えたり、その理由を考えたりすることで、学習の流れをとらえやすくしている。章の終わりで、図にまとめることによって、学習内容を振り返りやすくなっている。思考ツールについて、巻頭で使い方の手順を示してあり、わかりやすい。「探究学習への準備」で、一貫してSDGsと地域の視点からとらえるようにしている。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用できるものである。</p>
116・日文	<p>教科書本文の冒頭に少子高齢化社会の問題を持ってきており、玉野市の課題と合致している。社会参画を促す「明日に向かって」のページでは、度々SDGsの視点から書かれており、現代の社会の課題とも合致している。資料としてグラフや写真だけでなく、細かな仕組みを図にすることで生徒に分かりやすい仕様となっている。また掲載している資料も、思考が発展していくものが多く、授業を展開していくことが可能である。様々な問いも現代の社会を表しており、生徒に身近なものとして感じ取ることができる。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用するのにふさわしい。</p>
225・自由	<p>見開き右下に「ここがポイント」として具体的なまとめが示されていて、学習者が1単位時間で何を学ぶか分かりやすくなっている。話題性のある題材が多く、全体的に文章量が充実している。しかし、文字での情報が多いため、様々な</p>

	<p>資料を適切に収集、選択して、多面的多角的に考察する公民的分野の学習では、教科書に付け足して、取り扱う事象の関係を図や表にして表すなどの視覚支援が必要であり、使用の際に配慮が必要と感じる。二次元コードが少なく、指導のしづらさがある。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用できるものである。</p>
227・育鵬社	<p>多くのグラフや写真が掲載されており、学習する上で参考にすることができる。「学習を深めよう」の課題では、様々な事例を取り上げ生徒の興味関心を高める工夫がなされている。しかし掲載されている資料が細かいものが多く、文字数も多いため一部の生徒にとっては理解しづらい面があり、協働的・探究的な学びを確立するには難しい。また取り上げられている映画や、エピソード等が、生徒にとって身近に感じられにくく、授業を展開していく上での難しさを感じる。二次元コードが少なく、指導のしづらさがある。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用できるものである。</p>

令和7年度使用中学校教科用図書

選定委員会報告書

教科（ 社会 ） 種目（ 地図 ）

発行者の番号・名称	総 評
2・東書	<p>全体的に落ち着いた色使いで、地名や海峡などが見やすくなっている。地図の中で所々色の主張が強くなり、刺激が強いものについては工夫の余地があるものもある。地名や特産品によってフォントが違っていたり、それぞれの語句にルビが振られていたりするため、生徒にとって理解しやすくなっている。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用できるものである。</p>
46・帝国	<p>全体的に濃い色使いで構成されており、高地と低地の差がはっきりと示されている。地域の資料も十分な内容と適切な色使いがなされているため、見やすくなっている。記載されている地名の数が多く、発展的な学習や調べ学習に対応することができる。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用するのにふさわしい。</p>

選定委員会報告書

教科(数学) 種目(数学)

発行者の番号・名称	総 評
2・東書	<p>MATH CONNECT をテーマに、身の回りの数学どうしのつながりを重視している。内容ごとに、学習課題を表記することにより、これから学ぶことについて、見通しをもって学習が進められるようにしている。必ず解けるようになりたい問題にはマークをつけるなどの工夫がみられる。各ページの右下に二次元コードがあり、多くのデジタルコンテンツで、基礎の定着と思考力の育成を図っている。ページのレイアウトに関して、まとまりが感じにくい印象がみられる部分がある。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用できるものである。</p>
4・大日本	<p>「問題発見・問題解決の流れ」を設問と対応させて明示し、日常生活に生きる問題解決力をつける工夫がある。主体的・対話的で深い学びを実現するため、章の導入の活動、考えを伝え合う活動、学習したことを利用する課題を重視している。「Q判断しよう」「Q伝えよう」により、普段の学習で思考力・判断力・表現力を伸ばそうとする工夫がみられる。デジタルコンテンツへリンクする二次元コードが紙面上にあまり示されておらず、生徒が活用しづらい印象がある。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用できるものである。</p>
11・学図	<p>各章や節の扉ページで、身の回りの事象から主体的に問題を発見し、問題を解決しまとめ、新たな問題を発見する構成とすることで深い学びを実現している。見通しを立てて問題を解決していく過程で生徒同士の対話的な活動を多く取り入れ、話し合いの中で、確かな学力を育成させ、思考力・判断力・表現力の育成を図っている。「確かめよう」や「計算力を高めよう」には、類題が扱われ、量や種類が豊富である。学習内容の導入がページの途中から始まるレイアウトがいくつかみられる。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用できるものである。</p>
17・教出	<p>巻頭の「大切にしたい数学的な見方・考え方」では、問題解決の際に働かせる数学的な見方・考え方がまとめられており、本文には注釈として示され常に意識できるよう工夫されている。章に入る前に既習内容を確認する問題が設けられていたり、章の最後には学習した内容のまとめを行うページや、日常生活や実社会に活用されている事例が取り上げられていたりしている。学習内容に対して、まとめまで表記されており、生徒が考える余地が少なく感じられる。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用できるものである。</p>
61・啓林	<p>「問題発見」と「問題解決」のそれぞれで働かせる考え方を「たいせつな考え方」として取り入れられており、数学的な見方・考え方を自然に体得できるよ</p>

	<p>うに工夫されている。各領域のすべての章に「利用の節」を設置し、その中には「利用のステップ」を設けて、数学的な問題発見・解決の過程を意識させている。基礎・基本の定着が徹底できる問題も多く掲載されている。多様化する学習形態に対応するため、シミュレーションや解説動画などのさまざまな種類のデジタルコンテンツが充実している。また、二次元コードの説明があり、生徒が使用しやすいものになっている。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用するのにふさわしい。</p>
104・数研	<p>「数学的な見方・考え方」を身につけられるように、巻頭にまとめたものを示している。QやTRYの活動場面を中心に、生徒キャラクターの対話場面を示すようにして、課題に取り組む際にどのようなことに着目すればよいのか、一目でわかるようにしている。二次元コードを読み取り、基礎内容を反復できたり、グラフや図形を自由に書いたりできるコンテンツが充実している。ページごとのレイアウトに関して、統一感に欠ける部分がある。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用できるものである。</p>
116・日文	<p>巻頭では「主体的に学習に取り組む態度」がどのような態度であるかを分かりやすく具体的に示している。各章の前には「次の章を学ぶ前に」によって、既習事項を確認したうえで、次の章に入るよう工夫されている。学習内容が見開き2ページになるようレイアウトされており、学習のまとまりを感じながら進めることができるような構成になっている。二次元コードのコンテンツには書き込みをすることができるツールが搭載されており、お互いに説明する場面などで活用することができる。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用するのに適している。</p>

選定委員会報告書

教科(理科) 種目(理科)

発行者の番号・名称	総 評
2・東書	<p>全体的に写真やイラストが豊富に掲載され、生徒の関心が高まり、教科書に親しみをもちやすくなることが期待できる。また、課題を明示してあることで、学習の意欲や探究心を高められるようになっている。章末・単元末には、振り返りの問題が用意され、基礎的内容の定着を図ることができる。また、生徒が主体的に学習できるよう手順が示されていたり、ICT活用がしやすいよう二次元コードを配置したりするなど、生徒が探究する際の手助けとなるよう配慮されている。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用するのに適している。</p>
4・大日本	<p>各単元・各章で、「これまで学習したこと」や「思い出そう」で既習事項の確認をしながら、新しい学習課題に取り組むことができる。探究活動における各段階が意識できるよう、それぞれの表記がなされており、生徒が主体的に取り組むことができるような仕掛けが施されている。二次元コードのコンテンツは基本的な実験操作に重点をおいて作成しており、観察・実験の多くは紙面でのみ扱っている。全体的な分量が多く、丁寧に学習内容を記述していたり、科学的な発展の紹介がなされていたりするが、時間数の兼ね合いで内容の精査が教員側に求められる可能性がある。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用できるものである。</p>
11・学図	<p>「理路整然」と題して、教科書の多くの場面で探究の方法・レポートの書き方・粒子モデルをどのように表わすのか等の重要事項を詳細に解説しており、グループ活動における意見交換の場面での利用、科学的根拠を確認して現象を捉え直し考察する場面での活用などが考えられる。</p> <p>全体的な分量が多く記述も詳細になされていることにより、教科書を読み込んで理解するためには熟練が必要である。したがって、授業で全てを取り扱うことは困難が予想される。そのため生徒が自宅学習で使用するところを明確化することの留意が大切である。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用できるものである。</p>
17・教出	<p>課題から結論までの科学的探究の流れを意識した構成になっている。過去の学習との関連や他教科との関連、高等学校での学習へのつながり、私たちの生活とのつながりなどは、キャリア教育を重点とする本市での活用にも有用である。また、重要用語の整理や基本問題の設定など、基礎知識の定着もしっかり行うことができるよう工夫されている。効果的な写真やイラストの使用により、生徒が理解しやすいような工夫がなされているが、全</p>

	<p>体的に小さいため授業での使用に工夫が必要となる。また、単一的な構成なので、画一的な授業に陥る可能性がある。結論がしっかり明示されているため、そこまでの過程を大切にしたい授業構成を工夫する必要がある。これらのことから、採択地区において使用できるものである。</p>
<p>61・啓林館</p>	<p>どの生徒にとっても、見通しをもって科学的に探究する活動を段階的に行うことができ、思考力・表現力を高める工夫が随所にみられる。また、本文や実験後の解説も丁寧な記述が多く、大きく見やすい図や写真を効果的に配置するなど、理解を深める手立てがなされている。二次元コードからの動画閲覧や復習問題への取組などができるようになっており、授業だけでなく家庭学習でも主体的に取り組むための仕掛けもあり、学びに向かう力を高める工夫がされている。生徒の学びが深まるような、紙面構成となっている。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用するのにふさわしい。</p>

令和7年度使用中学校教科用図書

選定委員会報告書

教科（音楽）種目（一般）

発行者の番号・名称	総 評
17・教出	<p>全体的に楽譜や写真・イラストが大きく、見やすくレイアウトされている。既習の教材との比較をする場面が多く用意され、それぞれの教材を深められるような構成となっている。ワークシートとして使用できるような工夫もされており、説明も非常にわかりやすく、また見やすく工夫されているが、書き込む内容が少し幅広く設定されて自由度が高いため、教師の補足や工夫が必要な場合もある。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用するのに適している。</p>
27・教芸	<p>二次元コードからアクセスできる情報が多岐にわたり、興味を持たせたり、各自で活動できたりするような工夫が見られる。また、教材は難易度や、現在の音楽までの関係性を持たせて配置されており、生徒が現在親しんでいる音楽にも関連づけられている。写真や資料は最新かつ身近なものが多く採用されており、学習を超えて広く音楽に親しむことができるようになる構成となっている。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用するのにふさわしい。</p>

選定委員会報告書

教科（音楽） 種目（器楽）

発行者の番号・名称	総評
17・教出	<p>丁寧な解説と写真や図で、教師の指示を待たずとも演奏できるような工夫がされている。また、自身が着目したことを共有しながら、共通点や相違点などに焦点を当てる活動も含まれている。日本の伝統楽器では伝統の楽譜も掲載されているが、五線譜を大きく載せ、慣れ親しんだ表記をすることで、演奏のしやすさにつなげている。完成すれば達成感のある曲も多く掲載されているが、楽譜上でも情報量が多く、またリズムや合奏時の難易度が急に上がるので、読譜力や演奏技術などに合わせて内容を選択するなどの配慮が必要な場面もある。これらのことから、採択地区において使用できるものである。</p>
27・教芸	<p>丁寧な解説と写真・映像で、教師の指示を待たずして学習が進めるよう工夫されている。楽譜は音数が少なくシンプルなものが多く、見やすくまとめられている。和楽器の扱いでは、楽譜や口唱歌など伝統的なものを大きく配置して五線譜を小さく掲載し、文化を意識させるように工夫されている。曲そのものだけでなく、現代までの音楽につながっていることを意識させる工夫がされており、音楽に親しむ態度につながる内容のものも多く掲載されている。これらのことから、採択地区において使用するのにふさわしい。</p>

選定委員会報告書

教科（美術）種目（美術）

発行者の番号・名称	総評
9・開隆堂	<p>各題材は4ページを基本に、表現と鑑賞の関連を図った内容が、授業展開に沿って構成されている。各題材に、紙面左上に二次元コードでデジタルコンテンツが掲載され、導入動画、生徒作品、技法・用具の解説動画、鑑賞ワークシート、ふり返しワークシートが生徒自身で見られるようになっており、授業や家庭での自主的な活動をすることができるようになっている。題材ごとに学習の目標を3観点で示すとともに、それぞれの活動で主にどのような力を身につけることができるのか、小見出しで示し、題材のねらいや内容がわかりやすくなるよう工夫されている。学習の進め方やポイントを示しているが、造形的な視点として、やや具体性に欠けている。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用できるものである。</p>
38・光村	<p>2、3年を1冊にまとめることにより、学習内容が柔軟に対応できる。さらに技法などの学習に必要な資料を別冊「資料」としてコンパクトな一冊にまとめることで、3年間を通して、生徒が主体的に表現や鑑賞をする際に参考にできるようになっている。鑑賞では、「みんなの工夫」として生徒作品とともに、制作過程写真や、生徒の思いや考えを多く掲載し、評価の際に見取るべき生徒の姿や発想や構想を生み出す参考としやすい。鑑賞において、日本絵画を和紙のような風合いの紙で印刷していたり、実物に近い色合いや鑑賞者が見る視点から撮影した作品を掲載したり、デジタルコンテンツで高精細画像の書き込みツールがあったりするなど、造形的な見方・考え方を深めるための工夫が多数なされている。作品とその背景が記載されるなど、鑑賞の幅を広げる工夫がある。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用するのにふさわしい。</p>
116・日文	<p>「美術1」、「美術2・3上」「美術2・3下」の3冊で構成され、3年間の成長に寄り添った題材を掲載している。各題材に主文で必要な造形的な見方・考え方を示し、さらに、導入動画のデジタルコンテンツが掲載され、題材の全体像を理解しやすいように工夫されている。題材導入動画「学びのはじめに」では題材の生成や何を学んでほしいのかなどが示されており、生徒自身が自主的に学習することも可能になる。美術作家だけでなく現在活躍する他ジャンルの著名人からのメッセージをのせ、美術への興味がもてるような工夫がなされている。多くの作品例や情報を載せているが、各ページに凝縮して掲載しているため、活字や画像がやや小さく、生徒によっては、少し読みづらい可能性がある。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用するのに適している。</p>

令和7年度使用中学校教科用図書

選定委員会報告書

教科（保健体育）種目（保健体育）

発行者の番号・名称	総 評
2・東書	<p>基本的には、「見つける」「課題の解決」「広げる」の順で構成され、1時間の主な流れが明確に分かり、生徒が見通しをもって学習に取り組めるよう工夫がされている。1ページに示されている資料が多く、資料を読み取り、思考・判断・表現しながら知識・技能を習得できる工夫がされている。文章と資料のバランスが同じくらいの構成になっていて、中学生にとって活用しやすくなっている。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用するのに適している。</p>
4・大日本	<p>「学習のねらい」「つかもう」「やってみよう」（「話し合ってみよう」）「活用して深めよう」の順で構成されている。左ページに本文、右ページに資料が示されているため1時間の授業の流れがつかみやすい。章末資料に「学びを活かそう」が設けられているため、単元を通して学んだことを活用して意見を記述する力を身につけることができる。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用できるものである。</p>
50・大修館	<p>基本的には『今日の学習（めあて）』から『課題をつかむ（導入）』『学習のまとめ（グループワーク）』の順で構成され、課題解決的な学習の流れになっている。特集資料では発展的な内容が紹介されていたり、章のまとめでは観点別に分けて知識の定着や自分の考えをまとめたり、記述することによってアウトプットする場面も多く準備されていたりするなど充実している。保体クイズでは、気軽に学習に取り組めるなど全体的に多くの工夫がある。1ページあたりの文章量が多く、使用に配慮が必要である。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用できるものである。</p>
224・学研	<p>基本的には、『学習の課題（めあて）』から『ウォームアップ（課題の発見）』『エクササイズ』（課題の解決）『学びを生かす（学びの活用）』の順で構成されている。課題解決的な学習の流れになっており、デジタルコンテンツの使用も含め、主体的・対話的な学びを実現するための工夫がされている。教科書見開きの情報量も多すぎず、本文と資料を集中してみることができる。表と文章のバランスが良い。二次元コードが外部リンクとつながるなど、充実している。日常生活に生かすことができる。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用するのにふさわしい。</p>

令和7年度使用中学校教科用図書

選定委員会報告書

教科（ 技術家庭 ） 種目（ 技術分野 ）

発行者の番号・名称	総 評
2・東京書籍	<p>技術の「見方・考え方」を働かせた深い学びを実現できる教科書に仕上がっている。それぞれの学習内容が限定された条件の中で最適解を模索することをベースに構成されており、3年間の学習を通して技術の資質・能力を高めることができる作りとなっている。自身のアイデアや考えをアウトプットする活動が多く設定されており、非認知能力の育成にも有効であると考えられる。他学年との関連が明確に示されるなど、生活場面や教科横断的な学びの充実につながりやすい。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用するのにふさわしい。</p>
6・教図	<p>生徒が主体的に問題解決を行うことを主目的として設定されている教科書だと感じた。限定された条件下の最適解の模索という技術の見方・考え方を働かせた学びを行うには内容が弱い。文字の大きさは読みやすく、実習中に机に置いたまま作業がしやすいなどの工夫がみられるが、それに対して写真は小さく配置されており見にくく感じる部分もあり工夫が必要である。学習した内容を振り返ることのできる構成は生徒の知識・技能の確実な習得に効果的であると感じるが、自身のアイデアや考えを他者にアウトプットする活動の設定は少なく感じた。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用できるものである。</p>
9・開隆堂	<p>各ページの構成が統一されており、ユニバーサルデザインの観点からも学習者にとってわかりやすいレイアウトである。また、学習内容が見開きページに収まっており、学習者が学習課題を捉えやすいため、学習者が身につけるべき資質・能力が明確化されている。材料と加工の技術の観点において、製作のための技能が多ページにわたって示されている。エネルギー変換に関する技術の観点において、機械に関する内容が多い。素材の特性について詳しく記述があるなど、資料が充実している。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用するのに適している。</p>

令和 7 年度 使用 中学校 教科用 図書

選 定 委 員 会 報 告 書

教 科 (技術家庭) 種 目 (家庭分野)

発行者の番号・名称	総 評
2・東京書籍	<p>生徒が学習内容に取り組むきっかけとなるよう「考えてみよう」や「調べてみよう」が設定され、学習内容に関連した動画視聴やウェブサイトの検索ができるように工夫されている。また、思考ツールの活用例が掲載されており、思考力の育成が期待できる。構成は、6編で構成され、1編はガイダンスと学習指導要領 A の内容、2～5編は学習指導要領 BC の内容となっている。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用するのに適している。</p>
6・教図	<p>主体的な取組ができるよう、「調べてみよう」や「やってみよう」が設けられている。学習をさらに深めるための資料は、「資料」「参考」のマークが示されている。また、「考えてみよう」「話し合ってみよう」「発表してみよう」など、思考力・判断力・表現力育成につながる項目が適切に配置されている。学習指導要領の内容と同様に配列されており、10章で構成されている。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用するのにふさわしい。</p>
9・開隆堂	<p>生徒が自分事として学習内容に取り組むきっかけとなるように、「取り組み」では、実際の中学生の取組が紹介されている。学習に関連した情報が得られるように「豆知識」の欄が設けられている。また、対話的な学びの充実のための「話し合ってみよう」「発表してみよう」が配置されている。構成の特徴としては、生徒が興味関心をもちやすく見やすいように実物大の食品や手形などの写真が掲載されている。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用できるものである。</p>

選定委員会報告書

教科（ 外国語 ） 種目（ 英語 ）

発行者の番号・名称	総 評
2・東書	<p>4技能5領域がバランスよく配分されている。教科書のレイアウトもすっきりとしていて見やすい。取り上げられる題材も日本のポップカルチャーなどの身近なものから、国際協力について考えるような題材もあり、生徒が様々な視点からコミュニケーションを図る機会がある。デジタル教科書では、本文や単語の読み上げ以外にも、基礎基本の定着を図るためのクイズや書き込み機能が充実しており、主体的に学習に取り組む資料が多く掲載されている。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用するのにふさわしい。</p>
9・開隆堂	<p>1年生1学期に学習する内容が精選されており、スムーズな小中接続が意識されている。学習のハイライトとして「Our Project」を設置し、生徒が到達目標としてイメージしやすい。単元構成全体においても発信力の育成に重点を置いたつくりになっている印象が強い。巻末には生徒の主体的な学習をサポートする工夫が多くみられる。一方で、扱われる読み物の分量が各本課の本文とReadingの課の文で差があるため、Readingの指導をする際には配慮が必要である。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用できるものである。</p>
15・三省堂	<p>5領域のバランスに配慮し、統合的に学習できるよう工夫されている。構成がわかりやすく、レイアウトも適度なスペースが確保されており、見やすい。デジタル教科書では音声の確認や録音機能で自身の発音確認ができる。文法事項の動画をタブレットで見ることができ、家庭学習を支援する資料が充実している。1ページ当たりの分量が、生徒にとってちょうど良いものである。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用するのに適している。</p>
17・教出	<p>各Lessonとも、5つの領域を総合的に学習できるように内容が盛り込まれている。また、扱っている題材も多岐にわたり、様々な分野に着目することで、生徒が興味をもって取り組めるように工夫されている。全体的に英文の量が多く、内容をつかませるためには時間がかかることが想定される。そのため、苦手意識をもっている生徒とそうでない生徒の間での技能の習得の差異が大きくなることが考えられる。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用できるものである。</p>
38・光村	<p>全体の分量が適切であり、5領域をバランスよく学習することができる。対話文が多く取り上げられているので、学習した新出文法がどのように表現されるかわかりやすい。また、デジタル教科書では対話文のアニメーションを見ることができ、生徒が場面を理解しやすくなっている。扱われる読み物の分量には</p>

	<p>差があるため、1 単位時間での計画を立てる際には配慮が必要である。 これらのことから、採択地区において使用できるものである。</p>
61・啓林館	<p>全体的に、5 領域が適切な分量で配置されており、Part で新出文法を確認し、Think や Project での活動を通して書くことや話すこと（発表・やり取り）の能力を、段階を踏んで習得できる工夫がなされている。1 ページ当たりの分量が非常に多く、苦手な生徒にとっては情報過多になりうるものである。 これらのことから、採択地区において使用できるものである。</p>

選定委員会報告書

教科（ 道徳 ） 種目（ 道徳 ）

発行者の番号・名称	総 評
2・東書	<p>教材として現代社会の抱える課題が多数掲載され、生徒が自分事として考え、その解決に向けて、考え続けようとする意欲を育てることが期待できる。心情円などを活用することで客観的に自分自身も見つめることができる。「考えよう」、「見つめよう」では、題材について考える道筋を示すとともに、役割演劇や協働的な学習などが盛りこまれ、生徒自身の考えの整理や新たな気付きなどが期待できる。題材の終わりの「見つめようをぐっと深める」では、ユニットで構成されている内容があるため、重点を項目について取り扱いやすくなっている。デジタルコンテンツ（音読教材）の充実が図られている。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用するのにふさわしい。</p>
17・教出	<p>全体を通して色味を抑えることによって、配色による生徒の心情への影響に配慮がなされている。題材ごとに教科書の冒頭に導入の問いがあり、生徒を教材へと向かわせ、終末の道しるべで考えを深めることが期待できる。巻末には、学期、学年の終わりに道徳の授業で考えたことやまなびを振り返る頁が用意されている。各教材に二次元コードが付されているが、サイズが小さいため、タブレットで読み取りにくい。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用できるものである。</p>
38・光村	<p>9つのユニットで構成されているので、関連的に学習を継続することが可能となり、学びが広がるように工夫されている。学習のテーマやテーマに迫るための問い、別の立場から考える問いなど発問を示していることで、問題意識をもって学習に向かい、生徒が多面的・多角的に考えるように工夫されている。さらに、他教科との関連を図ることで、道徳的価値の理解を深めることの効果が期待される。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用するのに適している。</p>
116・日文	<p>教科書と道徳ノートの両方があることで、毎時間の自分の考えを書き留めて自らを振り返ってこれから生き方を考えることができるようになる。終末の自分に関する発問により、これからの課題を生徒自身が受け止めると期待される。繰り返し同じテーマのユニットがあることで、学んだ道徳的価値前を思い出しながら考えていくことができ、考え方の高まりを促すことができる。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用できるものである。</p>
224・学研	<p>「考えよう」や「深めよう」など教材の特質を押さえた発問や話し合いの活動により、生徒一人一人が考えを深められるよう工夫されていて、道徳的価値の理解を図ることに期待される。教材名の下にキーとなる文があり、興味を引く</p>

	<p>よくなっているが、道徳的価値に関するものだけではないので、導入で工夫が必要である。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用できるものである。</p>
232 あかつき	<p>発問とともに考えるべき視点が示されているため、どの生徒にとっても考えることが明確となり、わかりやすい様々な工夫がなされている。また、「マイ・プラス」では、段階を経ながらよりよい生き方を考えるきっかけとなる工夫がなされている。さらに、生徒同士の交流やロールプレイングを行うことで、多様な価値観に触れられるようになっている上、教材の最後にある「自分との対話」を通して、道徳的価値を実現することの難しさを自分のこととして捉え、探求していくことができる。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用するのに適している。</p>
233 日本教科書	<p>全体的に色味を抑えたシンプルな構成となっており、情報量を絞ることで生徒が集中して教材を読めるような工夫がなされている。多面的・多角的に考える発問を通して、生徒がこれからの自己の生き方を主体的に考えることが期待できる。「ウェルビーイングカード」は、使用後は適切な管理が必要である。</p> <p>これらのことから、採択地区において使用できるものである。</p>